

Ocean's Fukuoka

公益財団法人
福岡観光コンベンションビューロー
機関誌

オーシャンズ・フクオカ



西新町100年



西新中央商店街
昭和57年

西新1丁目商店街
昭和50年

写真提供：早良区役所「早良区お宝写真今昔物語い〜ね!!」



西新1丁目商店街
現在

防塁交差点
昭和42年



写真提供：早良区役所「早良区お宝写真今昔物語い〜ね!!」



西新中央商店街 現在

防塁交差点 現在



02 — 03 | FUKUOKA TOPICS

西新町100周年

賛助会員情報：九州プロレス・キッズニア

04 | INTERVIEW:主催者に聞く“Withコロナの時代”

05 | INTERVIEW:FCVBスタッフに聞く

05 | 新シリーズ:福岡大名ガーデンシティ

06 | FCVB(観光事業部) 事業紹介

07 | FCVB(MPF) 事業紹介

08 | コンベンションカレンダー

FUKUOKA TOPICS

祝 西新町100周年



福岡市天神の西側、早良区北部に位置する西新町が、福岡市へ編入されてから今年でちょうど100年を迎えました。

その間、西新町は大きく発展し、マスコミや不動産会社による「福岡市で住みたい街」ランキングなどでたびたび上位に入るほど、非常に人気が高い地区になりました。その西新町の旧唐津街道上に形成された西新商店街は、多くの商店街が大型店舗の進出などで活気が失われる現在でも、買い物客が集う商店街となっています。

今回は西新商店街にあり、来年創業70周年となる「あっぱれ食堂」の2代目樋口喜朗さんに、町の移り変わりについてお話を伺いました。



「あっぱれ食堂」2代目
樋口 喜朗さん

『私は戦前から西新に住んでいますが、この町は時代に合わせて柔軟に変化してきました。昭和30年代には、商店街周辺に7つもの映画館がありましたが、時の流れとともにすべてなくなりました。その後、地下鉄の開通や大型商業施設ができるなど、時代とともに西新は変化し発展してきました。』

また、西新は昔から高校や大学があり、学生の街と言っても過言ではありません。学生の胃袋を満たすため、商店街には食堂も多く、活気ある学生にいつも元気をもらっています。

西新は県外からの転勤者も多いと聞いています。その理由を伺うと、交通の利便性の良さや商店街、学校などの環境が整っているため、子育てに適した街であるからだそうです。

昔から住んでいる私たちにとっては当たり前前の環境も、ちょっと外の目線で見ると、見え方が全然違うんだなあと感じました。これからもこの西新は柔軟に変化しつつ、その時代に合った住みやすい街に発展していくことを願っています。』



西新商店街の名物「リヤカー部隊」は、戦前、農家の奥さんたちが自分の家で採れたものをリヤカーに積んで売り歩いてきたのが始まり。最盛期には100台を超えるリヤカーが並んでいた。

▶ アゴラ福岡山の上ホテル&スパ プレス カンファレンス開催

2022年4月15日、福岡市中央区輝国1丁目のアゴラ福岡山の上ホテル&スパでプレスカンファレンスが開かれました。万全のコロナ対策のもと、プレス説明会とホテル内覧が行われた後、山の上のホテルのハイライト“ビアテラス”でホテル自慢の料理が勢揃いしました。料理長はじめ、オールスタッフによるおもてなしに、久しぶりの高揚感を感じつつ、博多の暮れなずむ夜景を後にしました。



AGORA FUKUOKA Hilltop Hotel & Spa
Press Conference 2022.4.15.

Pick Up

ピックアップ (福岡観光コンベンションビューロー 賛助会員情報)



「九州ば元気にするバイ!」NPO法人 九州プロレス



九州プロレス 黒木さん

— 九州プロレスはどのような団体ですか?

2008年に旗揚げした、世界で唯一のNPO法人のプロレス団体です。「九州ば元気にするバイ!」が企業理念ですが、方言が入るくらい九州愛が強いんです。

九州各県でのプロレスイベントはもちろん、プロレスラーが高齢者施設、障がい者施設、児童養護施設、幼保園などへ訪問し、笑顔と元気を届けています。「レスラーの元気を本当に必要としているのは、もしかしたら会場に足を運べない人たちかもしれない。」という想いからです。コロナ前は年間平均350施設を訪問していました。

— 黒木さんが九州プロレスに入社したきっかけは?

もともとはフリーカメラマンとして、九州プロレスの試合をリングサイドで撮影していました。その時、背後からレスラーを応援してくれる子供達の熱い声援に胸を打たれ、私自身が九州プロレスの大ファンになりました。その後ご縁があって入社に至り、人生初の営業をしています。

— 九州プロレスの魅力とは?

お客様が対価を気にする事なく、無料でプロレスイベントに足を運べる事です。特に、過疎地や被災地など、普段プロレスを目にする機会が少ない地域を中心に、年間約50試合開催しています。(※一部有料のイベントがあります)

— 九州プロレスを応援するにはどのような方法がありますか?

オフィシャルパートナー企業(協賛金:月1万円から)の皆様の支援のお陰で、九州プロレスはまちおこし・慰問・青少年健全育成活動をする事が出来ています。

九州に笑顔と元気を届けたいと考えていらっしゃる企業様はぜひご連絡下さい。



九州プロレス設立14周年記念大会開催!

場 所: 福岡アイランドシティフォーラム(福岡市東区香椎照葉6-6-6)

日 時: 2022年8月11日(木・祝) 開場14:00 開始15:00

●有料チケット:4,000~10,000円 ※当日500円増



■NPO法人 九州プロレス

〒813-0034

福岡県福岡市東区多の津5-20-1-3F

TEL:092-400-9938

FAX:092-402-0011

MAIL:info@kyushu-pro-wrestling.com

■「キッズニア福岡」 7/31(日)「ららぽーと福岡」内にいよいよオープン!

キッズニアは、こどもの職業・社会体験施設です。好きなパビリオンを選んで、仕事やサービスを体験でき、仕事をしたらお給料として専用通貨「キッズ」が支給されます。「キッズニア東京」「キッズニア甲子園」に続いて、国内では3ヶ所目、13年ぶりの開業となります。

「キッズニア福岡」ならではの特徴として、DX(デジタルトランスフォーメーション)やエンジニアリングなどの体験を集積した「先端技術エリア」や、より多くの観客の前でパフォーマンスを披露できる舞台「オープンシアター」、さらに3歳未満の乳幼児も楽しめる「トドラーエリア」を新たに設けます。

福岡の地元企業の出展もありますので、7/31(日)のオープンをお楽しみに!



Interview インタビュー

主催者に聞く“Withコロナの時代” 第2回

新型コロナウイルス感染拡大による影響を受ける学会主催者の方々に、Withコロナの時代の学会開催について、そのご苦労や今後の展望をお聞きします。

九州大学工学研究院応用科学部門主幹教授
最先端有機光エレクトロニクス研究センター長

安達 千波矢 先生

今回は、第三世代有機EL研究における世界のトップランナーである安達教授に、九州大学伊都キャンパス共進化社会システムイノベーション施設の研究室でお話を伺いました。

Q1 コロナ下で封印されていた海外出張へ、ようやく6月からインド、そして7月にはイギリスの学会へ参加予定とのことですが、その目的をお聞かせください。

グラスゴーで開催されるThe International Conference on Science and Technology of Synthetic Metals (ICSM2022) 合成金属の科学と技術に関する国際会議に参加します。次期2026年開催地として、福岡のプレゼンテーションを行うことが目的です。福岡は食べ物がおいしいと人気ですし、7月の福岡には“博多祇園山笠”がある、と山笠のビデオを持って行って紹介してきます!(笑)

Q2 国際TADF(*)ワークショップを福岡の地で始められたきっかけと最近のオンラインによる国際学会、そして今後のご予定について教えてください。

2013年に国際TADFワークショップを始めて、今年で7回目を迎えます。この学会を福岡で開催しているのは、世界でしのぎを削っている業界にあって、自分たちの研究成果であるTADFが、この九州で開発されたことを世界に発信し続けていく必要があるからです。

*TADF=安達教授が開発した第三世代有機EL技術でThermally Activated Delayed Fluorescence(熱活性化遅延蛍光)の頭文字。

コロナ前は、学会のワークショップを『海の中道のリゾートホテル・ザ・ルイガンズ』で開催していました。僕はその雰囲気が好きで、都心から少し距離を置いた場所で、研究者同士、朝から晩まで顔を突き合わせて意見交換します。普段は激しい研究開発競争をしている参加者でも、しゃべってはならないことも酒が入ればつい口の端に上ってしまうことがあります。そうやって研究者同士が、お互いの研究の進捗を探り合い、同時に切磋琢磨していくというワークショップは大変貴重です。コロナ下ではオンライン開催で続けており、海外からの参加数がかかり増えましたが、どうしても議論の中身は浅くなってしまいますね。今年も12月に開催予定ですが、今後は、メタバースの技術などを取り入れた、ハイブリッドでよりリアルに近い開催方法ができないかと色々と考えているところです。

Q3 日々研究と学生の指導にお忙しい安達先生が、10年前に産学官連携のスタートアップ“Kyulux”(*)を設立された動機は何でしょうか?

プリンストン大学で研究助手をしていたとき、第二世代のOLED開発チームに参加していました。アメリカでは、開発チームによる技術が完成した後、その事業化に向けたスピードや資金集めなどの大学のイニシアティブは、私にとって大変な衝撃でした。国内でもスタートアップの取組が徐々に始まってはいますが、当時は、大学は研究成果を発表するまで、事業化は企業に任せるのが当たり前でした。それでは大学には何も残らない。アメリカで目の当たりにした経験を活かして、研究の成果を大学の資産として活用していけるようにと設立したのが、“Kyulux”です。

*2015年、安達教授が開発に成功した次世代有機EL技術であるTADFの事業化を目指して設立されたスタートアップ。これまでレアメタルに頼っていた有機ELディスプレイや照明に代わり、TADFの発光技術を使って、コストパフォーマンスに優れた長寿命かつ高純度の発色、更に高効率な発光すべてを実現する次世代有機ELを開発・販売している。

Q4 これからも福岡での国際学会を続けていけますか?

そうですね、アメリカのイーストコーストを東京だとすれば、福岡がウェストコーストのように、互いに対峙できるような発明とスタートアップの街にしていけるといいなと思います。



■安達センター長プロフィール

1991年九州大学大学院総合理工学研究科博士課程修了。
(株)リコー化成品技術研究所研究員、信州大学繊維学部機能高分子学科助手、プリンストン大学 Center for Photonics and Optoelectronic Materials (POEM) 研究員、千歳科学技術大学光科学部物質光科学科助教・教授
2005年九州大学未来化学創造センター教授、2010年より現職。
他受賞多数

■九州大学伊都キャンパスにFCVBの「MICE相談デスク」開設中

九大MICE相談デスクのお問合せ先 TEL:092-733-0101 Email:mpf-kd@welcome-fukuoka.or.jp

福岡観光コンベンションビューロースタッフに聞く

今年5月から福岡観光コンベンションビューローの一員となったケネス・マクフィー（セールスグループ課長、スコットランド出身）にお話を聞きました。



セールスグループ課長

ケネス・マクフィー



Facebook



LinkedIn

Q1 まずは自己紹介をお願いします。

はじめまして。ケネス・マクフィーです。私は1998年に初めて来日してから、福岡の人の温かさや街の住みやすさが大好きになり、通算で15年以上福岡に住んでいます。趣味はバイクツーリングやキャンプなどありますが、今一番ハマっているのはマリンスポーツです。天気の良い週末には、福岡の沿岸でセーリングを楽しんでいます。

Q2 次に、取り組んでいるお仕事について教えてください。

国際学会の誘致をメインに働いています。他には、海外とのコネクションを作り、国際イベントの誘致につなげたり、福岡の良さを欧米各国にPRし、福岡の認知度向上に取り組んでいます。（詳しい情報は右の二次元コードよりアクセスして下さい。）

仕事での1番のやりがいは、全くゼロの状態から誘致に取り組むことができるので、達成感がとても大きいです。マリンスポーツが好きなので、海に関するイベントを福岡に誘致したいですね。

一方、大変なことは、日本人の学会関係者の方々とお話をするときに、言葉の難しさを痛感します。専門用語をしっかりと理解することが今の私の課題です。また、コロナ禍で、今後の見通しが立たないことで、学会などの誘致に影響が出てしまっていることが残念です。

Q3 コロナ後のインバウンドの見通しについて、どう思いますか？

世界の主な国々では、すでに入国制限を解除しています。その点で、日本は対応が遅れていると感じます。母国のイギリスでは、今年から観光客の受入れを再開しましたが、段階を踏まず急激に外国人を入国させたことから、空港が大混乱を起こしました。

日本が制限を解除すれば、日本に来たい外国人は多いので、すぐにコロナ前の状態に戻ると思いますが、混乱しないよう、十分な準備が必要だと思います。例えば、日本に来る外国人の多くは、日本人ほどマスクの必要性をわかっていません。人と人の距離をどれくらい取れば安全なのか、どのようなシーンでマスクが必須なのか、明確にするべきでしょう。また、商業施設や飲食店などは、コロナに注意しながら、観光客のニーズに応えつつ、おもてなしをしていくことが求められます。早く以前の世の中に戻ってほしいと願っています。

Q4 母国のイギリスでは、SDGsはどのように考えられていますか？

イギリスでは、サステナビリティの優先度が高いように思います。カーボンニュートラルやプラスチック削減なども国民に支持されています。企業やホテルなどが、積極的にカーボンニュートラルの取り組みを進めていますが、そうしないとウケが悪くなり、顧客に支持されないという事情もあります。自然環境を守りながら、観光客をバランス良く受け入れることが目標です。



「福岡大名ガーデンシティ」

来春のグランドオープンに向け
着々と進行中

総合プロデュースを担う積水ハウス株式会社の松原さんに福岡大名ガーデンシティの全体像と今後のスケジュールについてお話を伺いました。

Q1 福岡市内の至る所から見通せる超現代的な高層の建物ですね。同時にスタートアップとの共生、イベント広場と、横にも繋がるイメージです。このプロジェクトのコンセプトや特長をお聞かせください。

グローバル創業都市として成長を続ける福岡のブランド力向上とアジアのリーダー都市に相応しい価値ある場所となるよう企画しました。

九州初の「ザ・リッツ・カールトン福岡」とハイグレードオフィス、スタートアップ施設[Fukuoka Growth Next]と連携した創業支援環境の提供、地域との多様な交流の場が、福岡大名ガーデンシティから波及することを狙っています。

Q2 いつ頃から大名ガーデンシティを実際に体験できるのでしょうか？

コミュニティ棟1階の公民館や老人いこいの家は、今春からご利用が始まっています。また、リッツカールトンやカンファレンスルームは、来春の供用開始が予定されています。詳細は、次号でご紹介します。

(秋号へつづく)



建設中の福岡大名ガーデンシティ 2022年5月時点

FCVB 事業紹介

▶ 観光事業部

▶ 誰もが楽しめる観光インクルージョン

福岡城・三の丸スクエアにて、きもの体験・舞遊の館を運営している、(有)フイーンベルコーポレーション 代表 延原進治さんの取り組みをご紹介します。

四季折々の福岡城の景色を、高齢者や障がいのある方でも、気軽に楽しんでいただける機会を提供したいと、福岡医健・スポーツ専門学校(福岡市博多区)に協力を依頼し、桜まつりの期間にあわせて、人力車への乗車をサポートする器具の開発から実証を実施しました。参加者の方には、「京都で乗れなかった人力車に乗れて嬉しかった!」との言葉をいただくなど、福岡城散策を楽しんでいただけた様子でした。このほかに、時代劇で見のお殿様やお姫様のように「籠」に乗せて案内できないかと、試作品1号を制作してみたものの、本体だけで総重量が35kg以上になってしまい、重くて運べなかったとの失敗談も伺いました。現在は、試作品2号の制作を検討中で、今後も、福岡城を多くの方に楽しんでいただけるような取り組みを進めてくださっています。

また舞遊の館では、着物体験を通じて礼儀作法の講座もおこなっており、先日は、日本経済大学の留学生が参加されました。参加者の9割がウクライナからの留学生ということで、舞遊の館のスタッフの皆さんも、日本での楽しい思い出作り的一生懸命取り組まれていました。学生の皆さんは、畳の歩き方、お辞儀の仕方などを学び、初めての着物体験で楽しそうな笑顔みせていたのが印象的でした。



(有)フイーンベルコーポレーション代表 延原 進治さん



人力車



籠の試作品1号



ウクライナからの留学生

▶ 2022年4月、当財団のホームページがリニューアルしました

福岡市の魅力がより伝わるように、美しくインパクトのある画像を大きく活用し、ビジュアル的に福岡市の特徴を伝えるとともに、コンテンツや動線を見直すことで、情報を見つけやすくなっています。

また、MICE関連のコンテンツをこれまで以上に独立した構成にすることで、MICE関係者、特にMICE主催者が福岡市での開催を検討する際、役立つ情報にアクセスしやすくなるようにしました。

今後も引き続き細かい部分を改良して、さらに使いやすいホームページを目指します!

ぜひ実際に右のQRコードよりアクセスして、ご活用ください!





▶ Meeting Place Fukuoka (MPF)



日仏経済サステナブルフェア 開催

福岡市とボルドー市の姉妹都市締結40周年を記念し、「日仏経済サステナブルフェア」が、2022年5月24日(火) 14:30より電気ビル共創館にて開催されました。

コロナ禍で来日困難な状況が続いていましたが、ボルドー市長ピエール・ユルミック氏をはじめ、ボルドー市副市長、ボルドー市商工会議所副会頭他9名が来福され、高島福岡市長や福岡経済界からの来場者など総勢約100名による、久々の対面でのビジネス交流会となりました。

はじめに両市長が、姉妹都市締結40周年を祝い、同時に世界喫緊の共通課題であるSDGs達成に貢献する両都市の取組を発表し、続いて日仏企業10社によるSDGs取組の事例紹介がありました。

会場では福岡発でフランスでも愛されているチョコレートや、水出しの八女茶などが振る舞われる中、活発な意見交換が行われました。

出展企業の方からは、“日頃交流ができない企業とのコミュニケーションが取れた”“企業の方と具体的にお話をすすめることができそう”などの声が寄せられ、来場者からは、“ボルドー市が目標としているサステナブルな取組は素晴らしい”“今後の地域連携の具体的な取組みに興味がある”といった前向きなご意見がありました。

会場内はリアルな国際交流再開を実感して、国際ビジネス本格化への期待に満ち溢れていました。



▶ 福岡Global MICE Schoolがキックオフしました

当財団が主催する「福岡Global MICE School」は、これから社会に出られる学生の皆さんが、MICEや国際実務への関心を高め、将来、その分野で活躍する人材の育成を目指しています。

コロナ禍で行われた2021年度は、すべてオンライン形式での受講でしたが、23名の受講生が全プログラムを修了いたしました。

今年のスクールには、12の大学、短大、専門学校から123名の方にお申し込みをいただき、6月4日に2022年度のキックオフミーティング(開校式)を実施しました。

市内で開催される国際会議やイベントの場で、直接、運営側の業務についての理解を深めるとも

に、MICE産業が地域にもたらす影響や効果について、事業者・学識経験者などを講師に迎えたワークショップの実施など、全て対面形式で約10回のプログラムを予定しています。

本スクールに興味と関心を持って参加される学生の皆さんが、近い将来、実際のMICE業界に携わり、そのステージで活躍していただけるよう、当財団も全力でサポートして参ります。



	開始	終了	大会・会議の名称	参加地区	参加人数	開催会場	事務局・問合せ先	☎
学術大会	8月5日	8月7日	第74回日本産科婦人科学会学術講演会(JSOG2022)	全国	10,000	福岡国際会議場 福岡サンパレス マリニメッセ福岡	大会事務局:九州大学医学部 婦人科学 産科学教室 運営事務局:(株)コングレ九州支社	092-716-7116
	8月19日	8月20日	第26回日本看護管理学会学術集会	全国	5,000	福岡国際会議場マリニメッセ 福岡B館 (ハイブリッド開催)	学術集会事務局:鹿児島大学 医療情報部 運営準備室:日本コンベンションサービ ス(株)九州支社	092-712-6201
	8月27日	8月28日	第31回日本外来小児科学会年次集会(SAGPJ2022)	全国	2,000	福岡国際会議場	運営事務局:日本コンベンションサービ ス(株)九州支社	092-712-6201
	9月19日	9月19日	ヨーガデイズ福岡2022	全国	500	福岡国際会議場 (ハイブリッド開催)	NPO法人ヨーガ療法士協会 福岡事務局	092-551-4163
	9月23日	9月25日	第11回日本認知症予防学会学術集会	全国	1,000	福岡国際会議場 (ハイブリッド開催)	学術集会事務局:医療法人ふらて会 西野病院 運営事務局:(株)JTBコミュニケーション デザイン	092-751-3244
	9月26日	9月28日	錯体化学会第72回討論会	全国	1,050	九州大学伊都キャンパス 福岡国際会議場	討論会実行委員会事務局 (九州大学理学研究院化学部門)	092-802-4169
	9月26日	9月28日	日本金属学会2022年秋期(第171回) 講演大会 日本鉄鋼協会2022年秋季 (第184回)講演大会	全国	2,500	福岡工業大学	(公社)日本金属学会事務局	022-223-3685
	10月2日	10月2日	第3回九州CKD看護研究会	九州	300	九州大学医学部百年講堂	研究会事務局:ckd.kango.com/ contact	—
	10月7日	10月8日	第60回日本糖尿病学会九州地方会 in 福岡	全国	2,000	福岡国際会議場 (ハイブリッド開催)	大会事務局:九州大学大学院医学研究 院 病態制御内科学(第三内科) 運営事務局:アンプロデュース(株)	092-401-5755
	10月14日	10月16日	第84回日本血液学会学術集会 (JSH2022)	全国	2,200	福岡国際会議場 (ハイブリッド開催)	主催大学事務局:九州大学医学部病態 修復内科 運営事務局:日本コンベンションサービ ス(株)関西支社	06-6221-5933
10月19日	10月21日	第81回全国産業安全衛生大会 2022	全国	10,000	福岡国際会議場マリニメッセ 福岡A館・B館	中央労働災害防止協会 教育ゼロ災推進部 イベント事業課	03-3452-6402	
展示イベント	9月3日	9月4日	第45回九州デンタルショー2022	九州	5,000	マリニメッセ福岡A館	福岡県歯科用品商組合 九州デンタルショー2022係	092-283-7005
	9月9日	9月10日	九州グランドフェア2022	九州	10,000	マリニメッセ福岡A館・B館	ユアサ商事 株式会社 九州支社	03-6369-1133
	9月23日	10月10日	アートフェアアジア福岡2022	全国	8,000	ホテルオークラ福岡 福岡国際会議場	一般社団法人アートフェアアジア福岡 福岡市	092-707-3779
	10月4日	10月5日	Food EXPO Kyushu 2022	国際	2,000	福岡国際センター	フードエキスポ九州実行委員会 (事務局:福岡商工会議所)	092-441-1119
	10月5日	10月7日	モノづくりフェア2022	全国	15,000	マリニメッセ福岡A館・B館	株式会社 日刊工業新聞社 西部支社	092-271-5715
	10月19日	10月21日	緑十字展2022	全国	5,000	マリニメッセ福岡A館	中央労働災害防止協会 教育ゼロ災推進部 イベント事業課	03-3452-6402

※賛助会員の方は、上記記載以外及び10月以降のスケジュールも当財団のホームページで閲覧いただけます。 ※上記は、7月初旬の情報です。内容が変更になる場合があります。

新賛助会員様ご紹介

問合せ先: ☎092(733)5050

会費 年間1口2万円から

新たにご入会いただきました。(順不同・敬称略)

皆様のご入会をお待ちしております

株式会社 トップルーム
815-0032 福岡市南区塩原3丁目17-7 ☎092-555-7673
福岡ではめずらしい「翻訳+デザイン+データ制作」専門会社。日本語デザイン制作→人手翻訳(AI機械翻訳も可能)→データ編集→印刷(又はWeb掲載)印刷物などの企画から冊子の納品までワンストップで対応可能
株式会社 地域ブランディング研究所
810-0023 福岡市中央区警固2-12-19 ☎03-5246-4248
「まちの誇りの架け橋」をミッションに「地域に根を馳せ・独自化」「わざわざ行きたいと思わせる体験商品の磨き上げ」[持続的に経営できる人・組織づくり]という3つのアプローチからまちづくりをブランディングし、より強いまちづくりをサポート。
NPO法人 九州プロレス
813-0034 福岡市東区多の津5-20-1-3F ☎092-400-9938
世界で唯一のNPO法人のプロレス団体です。「九州は元気にするパイ」をモットーに、九州各県でプロレスのイベントやレストランによる施設訪問で笑顔と元気をお届けしています。多くの試合は入場無料で、被災地や過疎地などでも開催しています。
ユニゾホテル株式会社 ホテルユニゾ博多駅博多口
812-0011 福岡市博多区博多駅前3-6-7 ☎092-433-6172
JR博多口より徒歩約9分の場所に有り、福岡空港へのアクセスにも優れた、ビジネス・観光にもご利用頂けるビジネスホテルです。

株式会社 スカイアイランド The 358 SORA/UMI
813-0017 福岡市東区香椎照葉6-6-5 ☎092-665-0828
博多・天神から車で約20分、都市高速出口の目の前にある移動に便利なホテルです。大型バスが16台停められる駐車場とMICE施設を完備しており、一般のお客様から団体まで幅広く受け入れ可能。食事等もお楽しみいただける複合商業施設も併設しております。
株式会社 久原本家グループ本社
811-2501 糟屋郡久山町大字猪野1442 ☎092-976-2000
創業130年を迎える調味料・食品会社です。だしをはじめとする「茅乃舎」あごだしのくばら」等のブランドを全国で展開。福岡では博多明太子の「飯房」店舗、博多駅に「めんたい料理 飯房」、本社のある久山町には「御料理 茅乃舎」の飲食店もございます。
特定非営利活動法人 芸術と遊び創造協会 福岡おもちゃ美術館
812-8627 福岡市博多区那珂6-23-1 ☎092-558-1903
朝倉の「100年ヒキ」のフローリング、福岡県産材でできたオリジナル遊びのコーナー、世界各国のおもちゃを集めた「多世代木育ミュージアム」です。福岡の木家具生産地の大川家具職人の職人のコラボ商品やオリジナルの木のおもちゃも販売しています。
株式会社 しいたけクリエイティブ
144-0045 東京都大田区南六郷3丁目10番16 六郷BASE #308 ☎03-4362-6074
国内最大級の英字メディアから独立した多国籍なチームが、戦略や企画立案・記事制作・デザイン・マーケティングまで一気通貫で支援。企業や自治体の「伝える力」を最大化させるクリエイティブ・エージェンシーです。

ユネスコ無形文化遺産「博多祇園山笠」を後世へ

博多を代表する祭り博多祇園山笠を後世へ繋いでいくためのクラウドファンディングです。皆様の応援をお待ちしております!



ユネスコ 無形文化遺産 博多祇園山笠を後世へ

2022年7月20日(水曜日)まで

2022年 目標額 200万円 実施期間 7月20日(水)まで

※約100名が山笠の認知度向上のための情報発信等に活用します。

詳細



オーシャンズ・フクオカ 読者プレゼント

3年ぶりに開催された博多祇園山笠を記念し冊子とうちわをセットにして、抽選で3名様へプレゼントいたします。

締切/ 令和4年8月22日(月)

■応募方法

二次元コードを読み取り、アンケートの回答、必要事項を記入の上、ご応募ください。

○博多祇園山笠冊子と
うちわセット **3**名様



